

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1494400110	事業の開始年月日	平成29年4月1日
		指定年月日	
法人名	医療法人社団 慈広会		
事業所名	グループホーム 楓		
所在地	(〒252-1107) 神奈川県綾瀬市深谷中3-12-15		
サービス種別等 定員	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成29年11月30日	評価結果 市町村受理日	平成30年5月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械浴を設置しています。未永く、入居者様に負担無く入浴を提供できます。</li> <li>・出来るだけ地域の食材を使い調理しています。</li> <li>・月行事に力を入れています。（地域交流を含めて楽しい一時を過ごせるように）</li> </ul>
---

## 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル 9階		
訪問調査日	平成30年1月22日	評価機関 評価決定日	平成30年4月12日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は、小田急江ノ島線長後駅からバスで10分程の「大法寺」バス停で下車、徒歩数分の場所に位置する。前面のバス道路沿いは、物流関係等の事業所やコンビニエンスストアや大きな寺院が見られる。一方、背後地は住宅地が広がり、農家の野菜直売所があるなど閑静な環境に恵まれている。 建物は、昨年新築した木造2階建ての2ユニットの事業所であり、周辺の環境に馴染んだ洒落たデザインとなっている。内部の床材はクッション性の高い材質のものを使用し、階段は緩やかな勾配にして安全性に配慮している。2階の居室には、非常階段につながるベランダが設置されており、非常時の避難経路の確保にも工夫された設計になっている。 また、この事業所の設備面の特長として、1階浴室に設置された機械浴の設備が挙げられる。車椅子利用の方にも、安心・安全な入浴サービスを提供している。</p> <p><b>【家庭同様の食事作りへのこだわり】</b> 食材は、近隣のスーパーマーケット、農協、農家の直売所等に買い出しに行っており、できるだけ地の野菜、卵などを活用している。日々の献立は、前日の食事の様子や利用者の希望を参考にして、専任の調理員が当日に決めているなど、一般家庭と同じやり方を心がけている。職員と利用者はテーブルを囲み、一緒に同じものを食べている。利用者は、下拵えや食器洗い・食器拭きを手伝っている。</p> <p><b>【「自分らしく」を大切に】</b> 理念にある「自分らしく、幸せな生活を送って頂けるように支援いたします。」の実践を心がけている。レクリエーションなども声掛けはするが、気が進まない利用者には、本人の意思を尊重した関わり方をするなど、グループホームならではの「のんびり」「ゆっくり」の生活を支援している。</p>
---

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 楓
ユニット名	1・2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○1 ○2	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○1 ○2	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所に貼りだし出社前に確認。</li> <li>・フロアー会議での意識づけ</li> </ul>	理念は、事業所開設時に管理者と法人スタッフが意見交換しながら作成している。特に、理念にある「自分らしく」生活していただけることを意識して支援をしている。1階、2階の事務室の見やすい場所に「理念」を掲示し、会議等で理念に沿った支援について話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、行事には参加しているが、密な交流は行えていない。1日でも早くホームを知ってもらい交流が出来るよう心掛ける</li> </ul>	自治会に加入し、回覧板で地域の行事等の情報を把握している。地域の運動会、産業まつり、どんど焼きなどに参加している。事業所で実施した法人スタッフによるオカリナ演奏会には自治会役員が来訪している。「なんでもボランティア」が月2～3回来訪し、散歩やレクリエーション、設備のメンテナンスなどしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、見学・相談は行い、認知症についても、施設の様子についても見て頂けるようにしている</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の取り組みや近況報告をし、意見等は各職員含め上司に報告しサービスの向上に活かせるようにしている</li> </ul>	2カ月に1回開催しており、メンバーは、家族、民生委員、自治会役員、市担当課職員、地域包括支援センター職員、管理者となっている。会議では、運営状況等の報告や委員との意見交換をしている。事業所周知のためのブログ開設は、会議での意見を反映したものである。人材確保についても話し合っている。	

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・わからないことを聞く程度であまり行えていない	市担当課職員が運営推進会議に参加しており、運営上の課題等について共有している。事故報告書や入所契約書の内容について相談している。生活保護費受給者が入居しているため、市の担当職員と連携して支援している。	
---	---	--	-------------------------	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の際に身体拘束について確認、話し合いをしている</li> <li>・研修への参加を積極的に行うようにしていく</li> </ul>	玄関及び各ユニット出入口については、危険防止のため、家族に説明し、施錠している。フロア会議で検討して、センサーマットを使用している事例があるが、家族に説明し、同意を得ている。これらについては、定期的に見直しを検討している。「身体拘束・高齢者虐待に関するマニュアル」に基づき、入職時研修、継続研修をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロア会議内や定期的にアンケートをとって、初心の心を忘れず、ケアに活かすようにしている</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ機会を以後、設ける</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを一緒に1つ1つ説明を行い、不明な点が出た際はきちんと説明できるよう心掛けている</li> </ul>		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議・家族会での意見や要望は職員に伝達し反映できるようにし、話し合いをしている</li> </ul>	家族会を3カ月に1回開催している。そこでの意見、要望を反映した事例として、駐車場の照明設置、行事の充実等がある。面会時等の家族からの要望については「相談受付書」に記録し対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・意見や提案を聞き、反映させるようにしている	月に1回、フロア会議を開催し意見交換をしている。職員が毎日の食事について感想等を「検食簿」に記録し、食事内容の改善につなげている。カンファレンスでは、介護計画のモニタリング、見直しについて意見交換をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・資格手当、勤続手当を設けている ・定年の年齢を上げるよう交渉中		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・各自の力量を把握に努めている最中であり、以後内外の研修に行く機会を確保するようにしていく		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・慈広会の学習会への参加し交流をもつようにしている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・申込み、契約時の段階で本人、ご家族の困っている事、要望等を聞き安心して預けられるようなサービスの提供を行うように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・話をよく傾聴しサービス提供を考え、相談しながら関係作りをしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・必要に応じ本人、家族と相談のもと他サービス利用を行うようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・職員も含め個々の力に応じた作業を一緒に行い、共に暮らす者同士の関係、職員との関係を築く様にしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・家族とコミュニケーションをよくとり本人の状態の把握をして頂き、協力を得るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・出来る際に行う形の為、以後馴染みの人や場所との関係が途切れないように努力していく	友人の訪問があり、一緒に友人宅や馴染みの場所へ出かけ、ドライブもしている。家族と一緒に、墓参り、外食、帰宅、家族旅行をしている方もいる。生活習慣の継続としては、裁縫が得意な利用者が、雑巾、布巾、袋を縫い、マフラーを編んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・個々の性格やその日の状態に合わせて利用者同士が関わり持つるように支援するように気を付けている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・本人が亡くなるケースで連絡があれば対応している		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・出来る限り本人本位の暮らしが出来るよう心掛け、検討している	入居前の面接で、どのような生活が希望か聞き取り、一人一人自分らしい生活ができるよう支援している。入居後は、散歩や行事等の機会を利用して、何気ない会話の中から意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・可能な限り本人より情報を得、家族、ケアマネより情報収集している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・個々の生活、心身状態等の把握に努め、ケアに活かすようにしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・家族、必要な関係者と話し合い意見交換し介護計画を作成に努めている	入居前に本人・家族から意見を聞き、暫定的な計画を作成し同意を得ている。入居後、2週間、3カ月、6カ月の節目でモニタリングし、必要な場合、その都度計画の見直しをしている。計画作成、見直しはカンファレンスで意見交換し職員間で情報共有している。往診ノートに記載された医療情報は計画見直しに反映されている。	介護記録は、ソフトが組み込まれたタブレットを活用するなど業務の効率化に努めています。今後さらに、個別の介護計画に沿った介護サービスの提供が容易に確認できるよう工夫されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個々の記録を行い（連絡ノートや往診ノート等含む）を活用し職員間カンファし共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・行っていないため、必要に応じて取り組むように心がける		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域資源の把握に努めるよう努力する		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・ご本人のかかりつけがある場合はご家族様の協力の下支援している	かかりつけ医の継続と協力医の選択が可能となっている。月1回協力医の往診があり、往診ノートに医師の意見、指示を記録している。法人内の看護師が週1回健康チェックをしている。脳神経外科、皮膚科、整形外科、眼科、歯科など専門科には家族同行で通院している。その場合、受診報告書に診療情報を記載し、情報共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・訪看、往診ノートを作り報告、相談し適切な医療や看護が受けれるようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・病院が法人にあるため、情報交換は密に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・契約時にある程度は話し合い、必要な段階で家族、主治医、訪看等と十分な話し合いを持ち、ケアにあたっている	契約時に「ターミナルケア（終末期）に関する指針」に基づき看取り介護の対応について説明している。終末期と診断されたときに改めて家族から「看取り介護実施同意書」により同意をいただいている。昨年、医師、看護師、家族と連携して看取り介護を行った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・実践までは行っていないが学習会は年に1回行っている	/	/
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・避難訓練は月に1回行い、避難経路、手順等を確認を含め行っている。消防署を含めた訓練は年に2回行っている	防災訓練は、年2回実施し、そのうち1回は夜間想定で実施している。災害時備蓄品は、飲料水を備蓄しているが、数量が不足しているなど不十分な状況である。	防災訓練は年2回実施していますが、地域住民の参加、協力を得られていません。運営推進会議の場を活用するなど地域への働きかけを期待します。また、災害備蓄は職員分も含め、3日分の飲料水と非常食等を備蓄されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・プライバシーを損ねる対応にならないよう注意するよう心掛けている。また、必要に応じ家族への了承を得て『ちゃん』付で呼ぶ等がある	理念にある「自分らしく」生活ができるように、利用者の自己決定を尊重して支援している。トイレは、車椅子を利用するとドアが完全に閉じられないため、使用中は、次にトイレを使用する方には、離れたところで待っていただくなどの配慮をしている。個人情報関連書類は事務所内の施錠できるキャビネットに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・出来る限り自己決定できるよう努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・出勤状況により職員側の都合になりがちな為、出来る限りは個々が自由に過ごせるよう支援していくよう努力している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・個々の希望を添うようにしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・出来る方には片付け・下準備は行って頂いている	食材は職員が近隣の農協、スーパーマーケット、農家の直売所などに買い出しに行っている。献立は、前日の食事の状況や利用者の希望を聞いて当日決めている。調理は、調理専任の職員が担当し、介護職員は、利用者と一緒に同じ食事をしている。利用者は、下拵え、食器洗い、食器拭きなどを手伝っている。敬老会、クリスマス会等の行事食、出前寿司等を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の食事量、水分量のチェックしている</li> <li>・個々に合った食事形態を提供している</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食口腔ケアをしている</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に合った排泄、誘導をしている</li> </ul>	タブレット端末で排泄状況を記録し、排泄パターンを細かく把握してトイレ誘導している。施設から入居した利用者が、入居時はリハビリパンツを使用していたが、きめ細かな排せつ支援により布パンツに改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操や食事、内服で対応している</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴日は決めているが入る時間は個々に応じるようにしている</li> </ul>	週3回の入浴が基本となっている。1階に機械浴の設備があり車いす利用者も安心・安全に入浴できている。更衣室には暖房設備がある。入浴を好まない利用者には、時間を変更したり、人を代えたりして柔軟に対応している。しょうぶ湯やゆず湯で季節を感じてもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・日中は基本食堂で過ごされています。ソファで時折ウトウトされることも。 夜間は安心して眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員は往診ノート、個人のチャートで確認し、薬の変更時はボードに記入し周知できるようにしている。個々の状態変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・出来る限り個々の楽しみを活かし、役割を持って生活できるよう支援するよう努力している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・個々の希望に添っての外出は行えておらず、散歩や行事で出かけている。出かけられるよう努力しく。	天気が良い日には、30分から1時間程度、川沿いや公園を回るコースを散歩している。地域の運動会、花見（近隣の公園や花見ドライブ）、お茶、初詣、どんど焼きなどに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・基本お預かりしている。使用の際は本人対応としている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご家族様と相談、同意の下、常識範囲時間内での電話は可としている。手紙は年賀状を試みたが字を書くことが困難の方多し。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行っている	モップ掛けによる床清掃、手摺拭き等を毎日行い、清潔を心がけている。換気扇の設置に加え、1日3回、窓を開けての換気に努めている。空気清浄機、加湿器を設置している。安全のため、床は全てクッション性のある床材を使用している。廊下には、利用者、職員が共同で作成した季節ごとのちぎり絵や行事写真などを飾り、生活感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席の配置を考えたり、車いすの入りやすさ等工夫している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内における範囲であれば持参して頂いてる	エアコン、カーテン、ベッド、マットレス、タンス、洗面台、面会者用椅子は備え付けとなっている。洋ダンス、テレビ、安楽椅子、車椅子、シルバーカー等が持ち込まれている。また、2階居室には、非常階段に通じるベランダが設置されている。また、居室の清掃は毎日行われている。	

55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・個々を理解し、その人に応じたケアを見守り安全に過ごせるよう工夫している		
----	--	---	--------------------------------------	--	--



## 目 標 達 成 計 画

事業所名 ケルブホーム楓作成日 H30.5.1

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	ケアプランがタブレット上に活かされていない。 (提供状況がわかりにくい)	ケアプランを把握する	ケアプランを縮小し (メモ)をタブレットに付ける 事で目につきやすくし、 併有できやすくする。 ※必ず 1日1つのプランに治療	3ヶ月
2				内容を入力するケースを増やしていく。	
3		防災グッズの数が足りない。 (食品、備品)	1日も早くそろえる。	・食料を3日分×人数分をそろえる。 ・備品の個数を記入し一目でわかる表を作成する	3ヶ月
4		身体拘束	センサーマットの縮小	状況を細かく分析し 情報を共有する記録を 申し送り、カンファを行う。	
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。